



成人式

野迫川村

子ども未来議会開催

令和元年12月19日、野迫川中学校の生徒による子ども未来議会が開催されました。

中学3年生1名と2年生2名が議員となり、村長に対して、生徒が思う村政に対する疑問や要望を一般質問として投げかけました。

実際の議会と同様の進行方法で行われ、議場が緊張で包まれる中、議案として『自分自身で道を切り開き、野迫川魂で乗り越えていく！』の願い文案について採択されました。一般質問では生徒の視点による率直な質問内容に対し、真剣な答弁が行われました。

今回で5回目となる野迫川村子ども未来議会で、生徒たちの村に対する思いを聞くことができ、大変意義のある議会となりました。

「小西 蓮 議長」開会挨拶

本日は、このような場を設けていただきありがとうございます。野迫川村は運動会の行事など学校行事を通じて人との関わりが多いところです。僕はそれがずっと続いてほしいと思っています。少子高齢化社会が続いておりますが、力をあわせて頑張って続けてほしいです。僕は再来年で野迫川村を旅立ちます。また野迫川村に帰ってきたときに、今よりも美しく、希望に満ち溢れた村になってほしいです。本日はどうぞよろしく願います。

「一般質問の内容」(抜粋)



【倉岡虹弥 議員】

質問 移住について

野迫川には、移住できる住居がたくさんあります。北今西には、移住体験ができる施設ができたと聞きました。ですが、野迫川の人口は増えていません。それは、移住できる住居はありますが、野迫川には仕事が無いため増えていないのだと思います。そこで、仕事を増やせば移住者が来やすいのではないかと考えました。例えば、今はインターネットの時代となっています。そこで「サテライトオフィス」という物があるということを知りました。村でも企業へサテライトオフィスにできる空き家や土地を提供することで仕事ができ、そこに通う人が増えれば人口は増加すると思います。

人口が増えてきたら、少しずつお土産屋さんや買い物ができる店を増やしてみるのはいかがでしょうかと思います。村長さんは今後、人口を増やしていきたいことについてどのようにお考えですか。

【答弁】(村長)

多くの人に野迫川村に住んでほしいと考えて、給食費の無料化や医療費の無料化など子育て支援にも取り組んでいます。野迫川村の人口は年々減ってきており、現在370名です。そこで、自然豊かな生活に関心のある村外の方に、不便なこともあるけれど野迫川村の素晴らしさを知っていただくため、廃校になっていた旧北今西小学校を改装し、愛称「ぶなの森」としてこの夏にオープンしました。この施設には、野迫川村での生活を体験できる部屋が3部屋あるほか、インターネット回線も整備したサテライトオフィスを2部屋用意しています。また、「ぶなの森」以外にも移住を目的として空き家を改修した人に対してその工事費用の一部を村が負担する制度も始めております。その他にも、野迫川村での仕事を増やし、野迫川村を元気にするため現在4名の地域おこし協力隊を移住者として受け入れています。野迫川村にきた地域おこし協力隊の皆さんには、村の新しい産業であるキノコづくり、林業、高野槇、鶴姫公園での食事の提供やお土産物の販売などに取り組んでもらっています。今年の国会では、地域おこし協力隊を含む過疎地域で頑張る人達を助け、人口減少が進む地域を元気にすることを目的とした法律を作るため、たくさんの話し合いが行われています。これからも地域おこし協力隊の皆さんには、野迫川村で長く働き、長い間住んでいただけたらという国や県と一緒に役場としても取り組みたいと考えています。

倉岡議員の質問にもあるように、野迫川村での仕事が増え、働く人が増えれば、村の中で買い物する人やお店も増え、村が活性化することが期待されると私も同じように思います。どうすれば、野迫川村をもっと元気にできるのかももちろん、移住によって人口が増えることも一つの解決策ですが、長く暮らしてくれる移住者を増やすことはなかなか難しいのが実情です。そのため、少し柔軟に考えて、実際に村に住んでもらえなくても、野迫川村に愛着を持ち、野迫川村に関わってくれの人を増やすことも同じくらい大切だと考えています。例えば、野迫川村での行事やイベントに参加してくれる人、ふるさと納税など色々な取り組みに賛同してくれる人達のことです。また、奈良女子大の学生さんが奈良女塾を開いてくれているのもその一つだと思います。そんな人達のことを関係人口という言葉で表現しています。皆さんも、中学校を卒業すれば、一度は野迫川村から巣立つ日が訪れると思います。それでも、野迫川村で育った今の気持ちを忘れないでください。将来、君たちが大きく成長して、野迫川村に戻ってきてくれることを楽しみにしています。たとえば、野迫川村以外の土地に住んでいる時でも、野迫川村の関係人口の1人としてこの村に関わってくださることを信じています。



【阪本ひなた議員】

質問 写真スポットについて

私は、中学校から野迫川村にきました。野迫川村に来て楽しかったことは、グアムに行った

こととキャンプをしたことです。グアムでは、みんなと一緒にダンスをしたのが楽しかったです。また行きたいです。キャンプでは、アマゴを捕まえました。アマゴはつるつるしていても美味しかったです。私は野迫川村に来てよかったです。みんなにも野迫川村を好きになってほしいです。

そこで、野迫川村にきた人に喜んでもらうために、写真を撮るところを作ったらよいと思います。野迫川村にはきれいな所があります。もみじやホタル、雲海、星などです。そこにカメラスタンドを作ったらよいと思います。もう一つは、これもりくんやつる姫ちゃんなどの顔パネルを作ったらよいと思います。

【答弁】(村長)

野迫川村の写真スポットについての質問ですが、まず、野迫川村を好きになってくれてありがとうございます。阪本議員が言うように、野迫川村に来ていただいた方々にもっともっと喜んでもらうために、写真を撮る撮影台や村のマスコットキャラクターのこれもあり君やつる姫ちゃんの顔パネルを作るなどして、おもてなしを考えることはとても大事なことです。野迫川村にはもみじやホタル、雲海や星など豊富な自然があり、多くの写真愛好家が訪ねてきています。ですが、初めて野迫川村を訪れた人に写真スポットを見つけてもらうことは難しいことだと思えます。近年、海外から本村に来る観光客も増えてきていますので、簡単に写真が撮れるような目印や看板、撮影台の設置や観光パンフレットに記載するなど考えてみたいと思います。村に来て、思わず写真を撮りたいかなるようなスポットを作ったり、紹介したりして、もっともっと多くの人に野迫川村に来てもらえる

よごじしたいと思えます。



【小西 蓮議員】

質問 観光スポットを増やすことについて

最近の社会では「インスタグラム」が流行し、「インスタ映え」という言葉ができたくらいです。それに伴い、インスタスポットという記念撮影をする場所も増えました。

しかし、野迫川には写真撮影が行える所が少ないと思えます。雲海が見え、自然現象が多いところですが、いつでも見えるわけではないです。そのため、観光客が野迫川に来てホテルのせ川に泊まるだけだったり、目的地までの経路として使われたりというように、野迫川に観光目的で来る人は少ないと思えます。そこで、鶴姫公園にフロンコを作ったり、景色を利用したりして、写真スポットを増やしてはいかがでしょうか。

SNSで、タグ付けという機能があります。例えば「#野迫川村」と調べるとSNS上で野迫川村の写真がまとめて出てきます。このように、誰かが野迫川で写真を撮りSNSに挙げるだけで、日本中、世界中の人に野迫川のことを宣伝したということになります。そうなる観光客が増え、野迫川の知名度も上がると思えますが、村長さんはどのようになっていますか。よろしくお願ひします。

【答弁】(村長)

今、多くの方に利用されているSNSの中

で有名なものといわれると、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムの3つが思い浮かぶかと思えます。この3つのSNSには、それぞれ特徴があります。まず、ツイッターは、発信者と受信者とのつながりを基本的には気にせず、自分の意見をつぶやくものとして使います。最近では、トランプ大統領のツイートが世間を賑わせています。次に、フェイスブックは発信者と受信者との繋がりで情報を共有する使い方をします。ミュージシャンのジャスティン・ビーバーさんが有名です。3つ目のインスタグラムは、自分の投稿に複数個のハッシュタグをつけ、そのハッシュタグから検索をかけてもらい、投稿内容を見てもらうというSNSです。芸人の渡辺直美さんがインスタ女王として有名です。知名度の低い野迫川村にとって、SNSで情報発信は手軽で費用もかからないとても良い方法だと考えています。しかし、便利な反面、あっとい間に拡散してしまい、炎上することも考えられますので、投稿内容を精査することがとても重要です。村が利用しているものとしては、ホームページとフェイスブックがあります。それだけでなく、個人として村民の方々もSNSを利用し、発信していますし、あまごっこも村について発信してくれています。今日、傍聴してくれている西田副議長も頻繁にフェイスブックを利用して村の情報を発信してくれています。私も、最近は見ることが多くなっています。今後、村として継続して情報を発信していきますが、それだけでなく野迫川村を愛する人たちにも発信してもらえよう環境を整えていけたらと考えています。鶴姫公園にフロンコ等の設置をしたらどうかというご意見もありましたが、今、鶴姫公園には幸せの鐘「天空の響き」を設置しております。大峰山や荒神社に向かって幸

せの鐘を鳴らしてもらおうということがフェイスブックなどでもよく紹介されています。それには、小西議員の言うように、野迫川村の自然の風景だけでなくインスタスポットやインスタ映えするような観光の目玉となるものを検討していきたいと思えます。その時にはここにいる議員の皆様、またこれからの子ども未来議会議員の皆様力をぜひ貸していただけたらとてもありがたいです。我々大人の経験や知識と、野迫川村で生活し育ってきた皆様の感性を合わせて野迫川村の観光分野をより良いものにしていきます。その中で、「#野迫川村」の投稿を増やし、世界中に発信していきたいと思えます。

【倉岡虹弥議長】

本日は、私たちのためにこのような場を設けていただき、ありがとうございます。私は、14年間野迫川村で育ちました。私は、村の人が優しい所や自然が美しい所が好きです。再来年、私は野迫川中学校を卒業し、村を離れることになりました。寂しい気持ちもありますが、楽しい気持ちもあります。いつか野迫川村に帰ってきたときにこの村がさらに良い村になっていることをとても楽しみにしています。野迫川村の方々は、私たちがよりよい学校生活を送るために様々なことをしてくださっていて、私自身、とても感謝しています。本日は、ありがとうございます。

野迫川村議会活動 新年挨拶まわり

令和2年1月7日(火) 角谷村長、小倉議長、西田副議長が荒井知事に新年挨拶を行いました。

角谷村長は今年の抱負を語り、荒井知事からは村政運営にアドバイスをいただき、新しい年への飛躍に向けた活発な意見交流を図りました。

今年の抱負として角谷村長は、「活気のある村づくりにしていきたい。春には野迫川中学校と三郷中学校がICTでつながり、旧北股小学校の改修が終わるなど明るい話題が多く楽しみである」、小倉議長は「高齢者にとって安心安全な村づくりをしたい」、西田副議長は「最年少議員として村の若者の活動を応援したい」と語った。



野迫川村成人式

令和2年1月12日(日)に山村振興センターにおいて、成人式を挙行了しました。式典では、多数の来賓や村関係者が出席する中、村長や来賓から新成人へお祝いと励ましの言葉や記念品の贈呈がありました。また、新成人を代表して小西彩来さんからは、成人式を迎えての決意や故郷への思いが詰まった謝辞がありました。

式典終了後には、村長や恩師、家族と一緒に記念撮影をしたり、久しぶりの再会で話に花を咲かせるなど会場には笑顔があふれていました。

新成人

小西彩来さん(柞原)

西本幸樹さん(北股)



保育所クリスマス会

12月24日(火) 保育所でクリスマス会が行われました。保育所の子供たちによる歌や発表をした後、サンタさんと今年は鶴姫ちゃんにも来てもらいました。サンタさんへたくさん質問をした後、プレゼントをもらいみんなとても喜んでいました。



中学生の「税についての作文」野迫川村長賞

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が募集した「税についての作文」で、野迫川中学校2年倉岡虹弥さんの『子どもでも買いやすくするために』が野迫川村長賞として表彰を受けました。受賞おめでとうございます。

中学生ならではの視点で、店で売られている商品の消費税表記の仕方について不便な点を述べ、子どもでも買いやすくするために工夫すべきことをまとめられていました。



野迫川村固定資産評価審査委員の選任について

令和2年1月1日付で、村議会の同意をいただき次の方に固定資産評価審査委員を務めていただくこととなりました。

西本利広氏(北股)

※固定資産評価審査委員は野迫川村固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服があった場合に、その価格が適正であるかを審査決定します。任期は3年の行政委員です。



てんいち先生



国民年金の任意加入制度について

老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

保険料の納め忘れ等により、納付済み期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入し、保険料を納めることにより、満額に近づけることができます。（申請日から任意加入となります。）

なお、老齢基礎年金を受けるためには、保険料の納付済み期間や免除期間等が、原則として10年以上必要となりますが、この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入できます。（ただし、昭和40年4月1日以前に生まれた方に限ります。）また、海外に在住する日本国籍を持つ方も任意加入することができます。詳しくは、年金事務所にお問い合わせください。

お問い合わせ先

大和高田年金事務所 ☎0745-22-3531

役場住民課 ☎0747-37-2101

のせ川歌壇

今の政治
木も売れなくて村潰す
素晴らしき杉柵なるのに

吉野 武文

ちゃぶ台を
囲みて宿題広げたる
昔こいしき雪降る夜は

中田 敬子

温暖化進み
この冬一度だに雪が降らねば
嬉しくもあり寂しくもあり

西前 睦代

旅先の
円空仏の微笑みに
飾りを捨てて
生きているかと問う

中西 章

雨降れば
水嵩高く池となり
天気の際は干枯びし池となる

西本 良子

寒ひどく
村に一本のこの道を
雪もなければ静かに通る

孤山

令和2年 野迫川村消防団出初式 奈良県消防協会南吉野支部連合出初式

新春恒例の令和2年野迫川村消防団出初式を1月10日（金）、野迫川村山村振興センターにおいて、消防団員45名が出動する中、多数の来賓のご臨席のもと挙行了しました。

また、1月18日（土）には、奈良県消防協会南吉野支部連合出初式が十津川村体育文化センターにおいて開催されました。

なお、優良消防団員として表彰を受けた方は、次のとおりです。（敬称略、順不同）

○奈良県消防協会南吉野支部連合出初式

知事表彰	第2分団	団員	西田	元員
協会長表彰	第4分団	分団長	増谷	良栄
支部長表彰	第3分団	副分団長	南谷	俊廣
	第1分団	班長	中本	清司

○野迫川村消防団出初式

村長特別表彰	第2分団	団員	菊谷	栄次
	第2分団	団員	西田	邦夫
村長表彰	第3分団	副分団長	南谷	俊廣
	第1分団	班長	中本	清司
団長特別表彰	第2分団	班長	小倉	豊
	第3分団	班長	中本	直樹
五條警察署長感謝状	第1分団			

